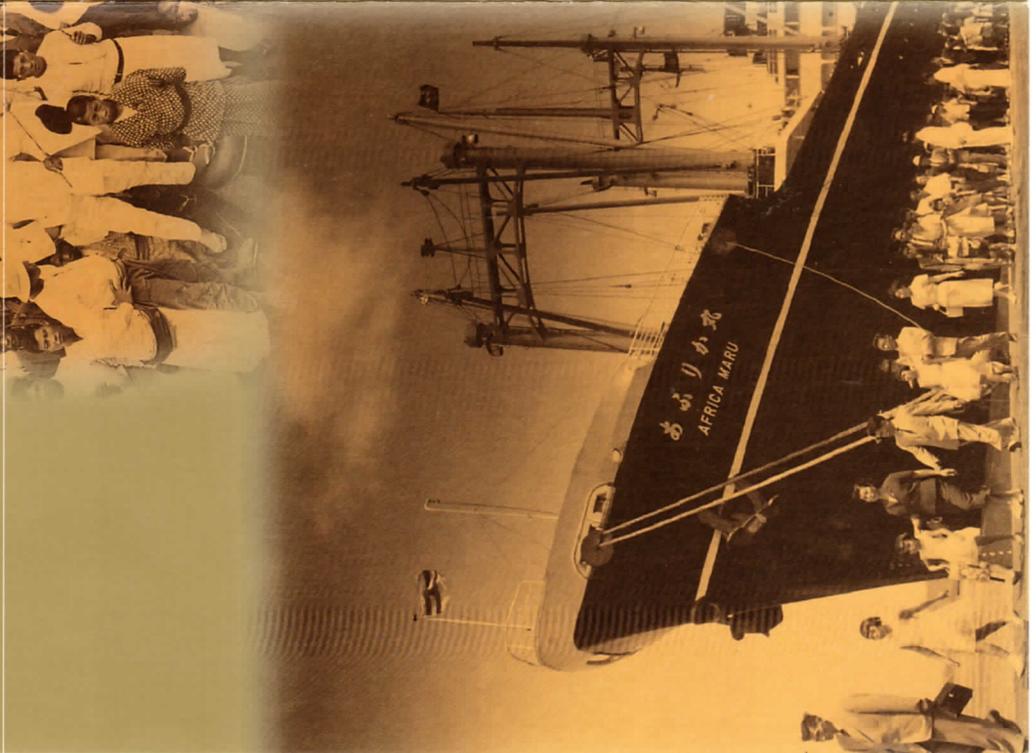




国際協力機構

JICA横浜

Japanese Overseas Migration Museum 海外移住資料館



資料館開館時間：10:00-18:00(入館は17:30まで)
 休館日：月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日)、
 年末年始(12月29日から1月3日)
 入館料：無料



- 周辺の博物館・資料館
- 横浜美術館
 - 横浜みなと博物館
 - 帆船日本丸
 - 神奈川県立歴史博物館
 - 日本郵船歴史博物館
 - 横浜税関資料展示室
 - 横浜開港資料館
 - シルク博物館
 - 日本新聞博物館
 - 放送ライブラリー
 - 横浜都市発展記念館
 - 横浜ユーラシア文化館

交通案内

- みなとみらい線・みなとみらい駅、又は馬車道駅から徒歩約8分。
- JR・市営地下鉄桜木町駅から汽貫道、ワールドポーターズ、新港サークルウォークを通り徒歩15分。
- JR・市営地下鉄関内駅から馬車道経由で徒歩15分。

JICA横浜 海外移住資料館

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2丁目3番1号
 TEL: 045-663-3257 FAX: 045-211-1781
 URL: <http://www.jommm.jp/>

日本人の海外移住は一〇〇年以上の歴史をかさねてきました。現在、海外で生活する移住者やその子孫の日系人の数は二五〇万人となり、ここ一〇数年、就労や勉学を目的に約三〇万人の日系人とその家族が来日し生活しています。

こうした状況をうけ、独立行政法人国際協力機構は、日本の海外移住の歴史および移住者と日系人の現在の姿を多くの人びとに知っていただきたいと考え、海外移住資料館を設置しました。

展示では、機構が、戦後、主に中南米への移住事業の一翼を担ったことから、中南米と、それに先行するハワイを含む北米を主たる対象としています。



南米への移民船「びらじる丸」

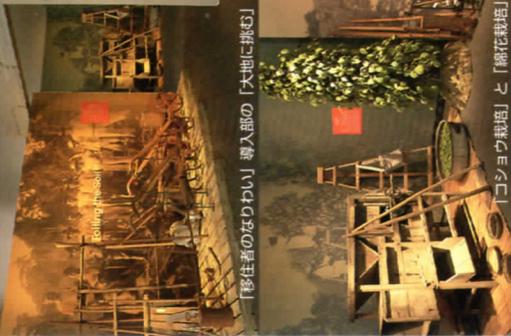
資料写真

(上) フラジラ行キ船止での出発記念 (1917年)

(下) フラジラ、サントス港に到着した移住者たち (1960年)

われら 新世界に 参加す

移住者たちは新世界での生活をつうじ、そこの新たな文明づくりに参加し、貢献してきました。大型映像や移住地の模型、標本資料などで、移住の背景、道のり、仕事や暮らし、コミュニティ形成について紹介しています。



「移住者のなりのわい」導入部の「大地に飛ぶ」

「コショウ栽培」と「棉花栽培」



移住者の家庭生活

日本人家庭で使われていた戸冊

デジタル移住スペース

移住に関する社会情報や地理情報、未来の情報に自由にアクセスできます。世界の未来と移住を仮想的に体験するスペースです。



大型三面マルチ映像「新世界の風景」



「移住の道のり」移民の七つ道具が詰まったトランプの山



「ぶらじる丸」(二代目)の模型



「呼び寄せ」と記されたバスポート



さまざまな旅行品



「海外移住の歴史」のコーナー

歴画映像と「旅後の移民船」っぽん丸

運航に特化した茶箱とスーツケース

ニッケイ・ライフ・ヒストリー

移住者とその家族たちの一生を、多彩な写真と映像で紹介しています。

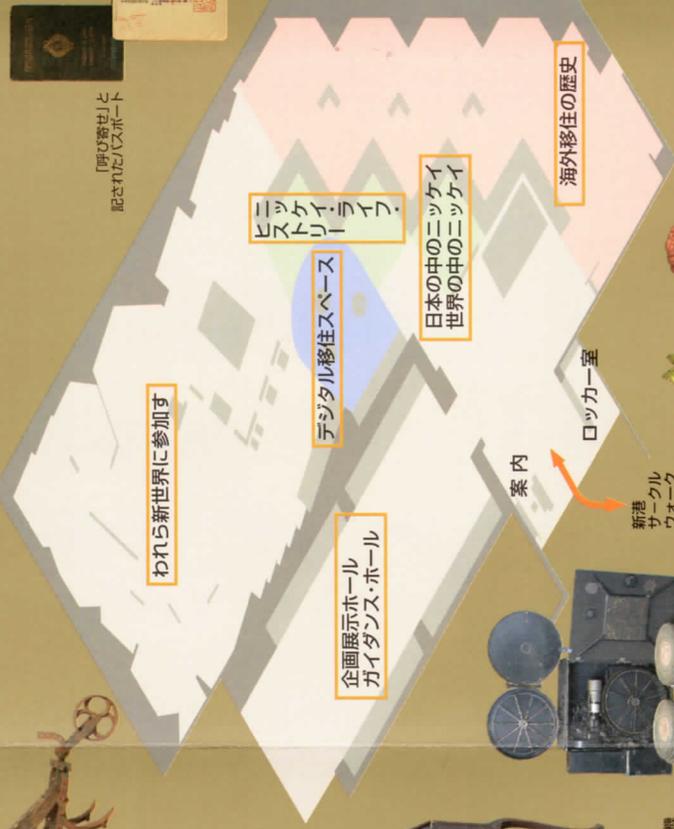


「家族のさすな」六世が居住したハワイのビッグ・ファミリー

デジタル移住スペース

日本の中のニッケイ 世界の中のニッケイ

海外移住の歴史

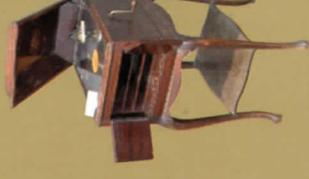


われら新世界に参加す

企画展示ホール ガイダンス・ホール



ブラジルの移住地をめぐった映写機

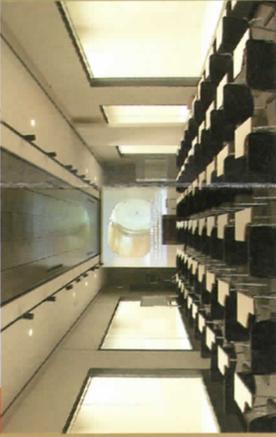


ペルーで駆用された蓄音機

ハワイの火山岩で作られた石臼

アルゼンチンで活躍した日本の耕運機

企画展示ホール ガイダンス・ホール



ローズ・フェスティバルの野菜山車

日本の中のニッケイ 世界の中のニッケイ

日本と世界におけるニッケイ(日系)の人びとの文化的活動をとりあげています。



ブラジルで使用されていた写真機



カナダのロウイン棒で作られた太鼓

ポリビアの移住地のハッピ

海外移住の歴史

日本における海外移住の歴史を5期に分け、年表、文獻、写真、映像によって各時代の重要な出来事を示しています。世界移住マップ、都道府県別の移住者数をあらわした立体地図、標本資料によるトピックコーナーも設置されています。

